科目名	アンサンブルⅣ			担当講師	曽山、田森(仁)、田森(正)、作山
講師実務経験	プロミュージシャン				
対象学年	2　学年	対象専攻	ミュージシャンコース　各専攻	授業形態	実習
期　間	7期・8期	総授業回数	25　回	1回あたりの授業時間	135(270)　分

期	修　得　目　標
7期	ライブイベントに向けた楽曲制作と、譜面、セッティング図等の資料完成させる力を修得する。
8期	より魅力的な楽曲作りと、より魅力的な表現。アンサンブルスキルの向上させる力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	オリジナル曲作成と伴奏編成
2	10月17日	オリジナル曲作成と伴奏編成
3	10月21日	オリジナル曲作成と伴奏編成
4	10月24日	オリジナル曲作成と伴奏編成
5	10月28日	オリジナル曲作成と伴奏編成
6	10月31日	オリジナル曲作成と伴奏編成
7	11月4日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
8	11月7日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
9	11月11日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
10	11月14日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
11	11月18日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
12	11月21日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
13	11月25日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
14	11月28日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
15	12月2日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
16	12月5日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
17	12月12日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
18	12月16日	レコーディングセミナーに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
19	1月16日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
20	1月20日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
21	1月23日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
22	1月27日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
23	1月30日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
24	2月3日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
25	2月6日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
26	2月10日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
27	2月13日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成
28	2月17日	卒業ライブ＆オーディションに向けて　/ オリジナル曲作成と伴奏編成

評価方法	実技習得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)
	評価方法:C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	126時間中43時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)

科目名	編曲IIV	担当講師	谷津　祐子
講師実務経験	大学非常勤講師		

対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース　各専攻	授業形態	実習
期　間	7期・8期	総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
7期	楽曲のスタイル・ジャンルなど自分の意図する編曲ができる力を修得する。
8期	作曲・編曲・記譜の総合的な実践力を高め、柔軟に応用できる力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月18日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ1
2	10月25日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ1―2
3	11月1日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ2
4	11月8日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ2―2
5	11月15日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ3
6	11月22日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ3―2
7	11月29日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ4
8	12月6日	さまざまなスタイル・ジャンルによるアレンジ4―2
9	12月13日	総合的な制作・アレンジ・記譜1
10	1月17日	総合的な制作・アレンジ・記譜1―2
11	1月24日	総合的な制作・アレンジ・記譜1-3
12	1月31日	総合的な制作・アレンジ・記譜2
13	2月7日	総合的な制作・アレンジ・記譜2―2
14	2月14日	総合的な制作・アレンジ・記譜2-3

評価方法	C評価 実技習得度で評価
	平常点±10点（出席率、授業態度、取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各自五線紙用意のこと／随時授業にてプリント配布
注意事項	42時間中　15時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）

科目名	DTM IV	担当講師	谷津　祐子
講師実務経験	大学非常勤講師		

対象学年	2	学年	対象専攻	ミュージシャンコース　各専攻	授業形態	実習
期　間	7期･8期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
7期	他分野との関連やさまざまな制約の中での楽曲制作ができる力を修得する。
8期	総合的な楽曲制作ができる力を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月12日	音楽と他分野との関連・音楽のもたらす効果
2	10月19日	テーマ・制約に沿った制作１
3	10月26日	テーマ・制約に沿った制作１
4	11月2日	テーマ・制約に沿った制作２
5	11月9日	テーマ・制約に沿った制作２
6	11月16日	テーマ・制約に沿った制作３
7	11月30日	テーマ・制約に沿った制作３
8	12月14日	テーマ・制約に沿った制作４
9	1月18日	テーマ・制約に沿った制作４
10	1月25日	総合的な楽曲制作1
11	2月1日	総合的な楽曲制作2
12	2月8日	総合的な楽曲制作3
13	2月15日	総合的な楽曲制作4

評価方法	C評価 実技習得度で評価
	平常点±１０点（出席率、授業態度、取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	各回授業にてプリント配布
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）

科目名	リズムⅡ			担当講師	神田　直樹
講師実務経験	ドラマー/パーカッショニスト				
対象学年	2　学年	対象専攻	ミュージシャンコース　各専攻	授業形態	講義
期　間	7期・8期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
7期	リズムの重要性を再認識、崩れない土台を形成し修得する。
8期	様々な音符、連符に対応できることを目標とし修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月12日	ブルースから学ぶリズムを習得する
2	10月19日	Soul/Funkから学ぶリズムを習得する
3	10月26日	R&B/HIPHOPから学ぶリズムを習得する
4	11月2日	Reggaeから学ぶリズムを習得する
5	11月9日	ポリリズムを習得する①
6	11月16日	ポリリズムを習得する②
7	11月30日	ラテン音楽の知識を習得する
8	12月14日	ブラジル音楽のリズムを習得する
9	1月18日	キューバ音楽のリズムを習得する
10	1月25日	リズム曲を構成する技術を習得する
11	2月1日	実技試験対策
12	2月8日	実技試験
13	2月15日	筆記試験対策

評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度（50%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	評価方法：B
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	ドラム実習Ⅳ			担当講師	田森　正行
講師実務経験	ドラマー　音楽講師				
対象学年	2　学年	対象専攻	ドラム専攻	授業形態	実習
期　間	7期・8期	総授業回数	27　回	1回あたりの授業時間	135　分

期	修　得　目　標
7期	ラテンやジャズなどのリズムを中心にグルーヴを修得する。
8期	ポリリズム、変拍子、リニアパターンなど高度なテクニックの知識、演奏力の修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月13日	ラテンリズムの習得①　ボサノバ・サンバなどブラジル音楽を中心に練習
2	10月18日	ラテンリズムの習得②　サンバの強化（3拍子サンバなど）
3	10月20日	ラテンリズムの習得③　バイオンの練習
4	10月25日	ラテンリズムの習得④　チャチャやソンなどのキューバ音楽の練習
5	10月27日	ラテンリズムの習得⑤　マンボやソンゴなどのキューバ音楽の練習
6	11月1日	ラテンリズムの習得⑥　6/8拍　アフロキューバンの練習
7	11月8日	ラテンリズムの習得⑦　いろいろ地域のリズムの練習 （レゲエ、メレンゲ、モザンビーケなど）
8	11月10日	シンバルレガートの習得とレガート中の左手のバリエーション練習①
9	11月15日	シンバルレガートの習得とレガート中の左手のバリエーション練習②
10	11月17日	レガート中の右足のバリエーション練習①
11	11月22日	レガート中の右足のバリエーション練習②
12	11月24日	ジャズにおいてよく使われるフィルイン
13	11月29日	ジャズの演奏形態を体験する（1コーラスの概念）
14	12月1日	スタンダードジャズ①
15	12月6日	スタンダードジャズ②
16	12月13日	変拍子のリズムパターン①
17	12月15日	変拍子のリズムパターン②
18	1月17日	変拍子の中でのフィルイン①
19	1月19日	変拍子の中でのフィルイン②
20	1月24日	リニアパターンリズム編（16分系）
21	1月26日	リニアパターンリズム編（3連、6連系）
22	1月31日	リニアパターンフィルイン編（16分系）
23	2月2日	リニアパターンフィルイン編（3連、6連系）
24	2月7日	難曲に挑戦①
25	2月9日	難曲に挑戦②
26	2月14日	難曲に挑戦③
27	2月16日	自分の苦手な部分を再認識し、今後の練習目標をたてる

評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
意事項	81時間中28時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	作詞Ⅳ			担当講師	吉田佳代
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	2　学年	対象専攻	ミュージシャンコース	授業形態	座学
期　間	7期8期	総授業回数	13　回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
7期	自分でアーティストと作品のテーマを企画し作品作りを修得する。
8期	自分でアーティストと作品のテーマを企画し作品を作る。推敲しプロフェッショナルな作品を完成させ修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月13日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　ロック系
2	10月20日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　ロック系
3	10月27日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　ダンスミュージック
4	11月10日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　ダンスミュージック
5	11月17日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　ソロアーティスト
6	11月24日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　ソロアーティスト
7	12月1日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　グループ
8	12月15日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　ジャンル　グループ
9	1月19日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　全て自由に企画し完成させる
10	1月26日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　全て自由に企画し完成させる
11	2月2日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　全て自由に企画し完成させる
12	2月9日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　全て自由に企画し完成させる
13	2月16日	企画しアーティストに合わせた作品を作る　全て自由に企画し完成させる
14		
15		

評価方法	実技習得度（100%）平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	※実技習得度評価時期・方法：C
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音楽史			担当講師	曽山　良一
講師実務経験	プロギタリスト・作曲家				
対象学年	2　学年	対象専攻	ミュージシャンコース　各専攻	授業形態	講義
期　間	7期・8期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	45　分

期	修　得　目　標
7期	西洋音楽からポピュラー音楽のルーツを修得する。
8期	ポピュラー音楽に於ける楽器の重要性を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	授業ガイダンス
2	10月21日	「音楽」と言うもののはじまりについて
3	10月28日	ラテン音楽からスタイルの発展について
4	11月4日	1930年代からみるポピュラー音楽の流れについて①
5	11月11日	1930年代からみるポピュラー音楽の流れについて（映像含）②
6	11月18日	モータウンサウンドについて
7	11月25日	モータウンレコードの代表的なアーティストについて
8	12月2日	ポピュラー音楽と楽器の関係性について
9	12月16日	ポピュラー音楽と楽器編成について
10	1月20日	楽器メーカーと音楽史について
11	1月27日	世界の名演・ピックアップ映像①
12	2月3日	世界の名演・ピックアップ映像②
13	2月10日	世界の名演・ピックアップ映像③
14	2月17日	試験対策

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）

科目名	音楽ビジネス			担当講師	曽山　良一
講師実務経験	作曲家・ギタリスト				
対象学年	2　学年	対象専攻	ミュージシャンコース　各専攻	授業形態	講義
期　間	7期・8期	総授業回数	14　回	1回あたりの授業時間	90　分

期	修　得　目　標
7期	音楽産業の実態を修得する。
8期	知的財産の権利・管理方法を修得する。

回数	日程	【授　業　計　画】
1	10月14日	授業ガイダンス・自己の経歴から音楽業界について
2	10月21日	音楽産業～仕事の種類について
3	10月28日	著作権法について
4	11月4日	オリジナル作品と印税について
5	11月11日	レコード会社について（メジャー・ミニメジャー・インディーズ）
6	11月18日	プロダクションについて
7	11月25日	音楽出版会社について
8	12月2日	音楽家とマスメディアについて
9	12月16日	アーティストとしての各規約について
10	1月20日	演奏家と作家について
11	1月27日	プロフェッショナルとプロボノ活動について
12	2月3日	プロモーションについて
13	2月10日	エンターテインメント～音楽の未来について
14	2月17日	試験対策

評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）
	評価方法：A
評価	上記総合評価点　S(100-90)　A(89-80)　B(79-60)　C(59-50)　D(49以下 不可)
テキスト	
注意事項	28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）